

しなののうた

鉢植えを外に出しやればてらてらと若葉樋を浴び金に耀く

l.NI

杉田小百合

しなののうた

桃色の八重の椿が花のまま落ちてても咲けりピンク艶めく

杉田小百合



しなののうた

花散らす風に花びら乱舞して舞い込んでくるわたしの内に

l.MI

杉田小百合

しなののうた

見えねどもひねもす啼ける鶯に解き放たれてひと日過ぎゆく

杉田小百合



しなののうた

山椒の新芽が膳に添えられて春の香りが口に広がる

l.MI

杉田小百合